

## 【整形外科】

### 小児肘内障

国吉病院

医師 谷脇 祥通 さん

子どもと手をつないで歩いているときに子どもが転びそうになり、とつさに手を引つ張つたら急に泣いて手を動かさなくなった、というのが最も典型的な起こり方で、橈骨頭が輪状靭帯から外れかかった関節の亜脱臼の状態です。俗に言う肘が抜けた状態です。歩き始めから5歳くらいまでの子どもに多く、突然泣き出して痛めた方の腕を使おうとしなくなり、まひ



したようにだらりと垂れ、触れられることを嫌がります。遊んでいるときに起こったり、けがをした原因が分からないこともよくあり、肘周囲や鎖骨の骨折などの鑑別が必要となります。

亜脱臼した関節が自然に元に戻ることもありますが、多くの場合で関節を元に戻す整復処置が必要です。比較的簡単にできることが多く、整復後に子どもは

すぐに肘を曲げたり手を使うようになります。

5〜6歳になると靭帯がしっかりしてくるのであまり再発は起こりませんが、一度肘内障が起こると繰り返すことが多いので、治つてもその後は手を強く引つ張らないように注意が必要です。

#### 医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他